

都小音研

令和4年3月10日第64巻440号

発行所
東京都小学校音楽教育研究会

事務所
東京都稲城市矢野口3635
稲城市立南山小学校

変わらないもの

東京都小学校音楽教育研究会
副会長 齋藤 智子
(足立区立青井小学校長)

令和4年1月、東京都小学校音楽研究会「令和3年度 第64回 東京都小学校音楽教育研究会 研究大会 山の手Cゾーン大会」が開催される予定でしたが、昨年に引き続き誌面開催となりました。大会開催に向けてご尽力された品川区・目黒区・大田区の先生方をはじめ、関係の皆様には、心より感謝申し上げます。

今、子供たち一人一人に着目して、自主性や主体性、創造力、課題解決力などを伸ばしていく学びの実現に向けて、音楽科においても、資質・能力をどのように生かしていくか、従来の指導方法を考え直し、新たに創造していかなければならない時を迎えています。

令和2年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、音楽室から児童の歌う声や楽器を合わせる音を聞くことができない時期がありました。制限のある中で、音楽科の学習においても、子供たちの学びを止めることなく、今できることを考え工夫してどのように進めていくかが、現在も引き続き求められています。ICTを活用し、リモート授業を併用するなど、どのような状況になっても学びを続けられるような工夫や、一人一台のタブレット端末を効果的に活用した指導など、各地域で様々な研修会が行われたり、実践例を持ち寄ったりして、試行錯誤が繰り返されています。

このように音楽科の授業で新しい指導方法を取り入れていくことが求められる中でも、変わらない大切なことがあると思います。それは「音楽が大好きな子供を育てたい」という思いです。私自身、教師として、初任の頃から思い続けていることでもあります。音楽は、うれしい時にその喜びを倍にしてくれたり、心が傷ついてしまうような悲しい時には、気持ちに寄り添ってくれたり、心が折れそうな時に力を与えてくれたりするもの。だからこそ、子供たちがこれからの社会が予測困難な時代になっても、自分で道を切り拓いていかなければならない時でも、音楽にかかわる先生方には、音楽を愛好する心情を育てるといった本質を忘れてほしくないと思います。

これまでの私自身の経験の中でも、子供たちは音楽の授業の中で、音楽を聴いたり、演奏したり歌ったり、つくったりすることで音楽とつながり、友達と音を合わせ、心を通い合わせるうれしさを感じながら人とつながってきました。そして、そのつながりを大切にしながら意欲をもって表現する喜びを感じた時に、心が動き、豊かな心を育んできました。これからの音楽科教育を支えていく現場の先生方におかれましても、音楽を愛する心とともに、音楽を通して人とつながる素晴らしさをぜひ子供たちに伝えていってほしいと思います。

結びに、春夏秋冬、それぞれの季節に咲く花があるように、四季折々歌い継がれている歌があります。もうすぐ桜の花の季節、門出の季節です。今、それぞれの学校で、卒業に向けての準備が行われている時期ですが、人生の節目に歌わせたい曲、出会わせたい曲があります。子供たちが「卒業」という門出に、友達と心を通い合わせながら歌う思いを受け止め、「幸多くあれ」とエールをおくりたいと思います。



令和3年度 第64回 都小音研 研究大会 山の手Cゾーン大会

■ 研究主題「つなげよう 広げよう 生かそう 私たちの音楽」

山の手Cゾーン大会報告

山の手Cゾーン大会推進委員長
大田区立新宿小学校 主任教諭 田村 泉



第64回研究大会は、直前の1月17日まで感染拡大防止対策を考え、可能な限りの準備をしておりましたが、急激な感染者増加の状況下、昨年度に引き続き誌面開催への変更となりました。

山の手Cゾーン大会に向けて、1回目の顔合わせは翌年に全国大会東京大会を控えた平成30年秋でした。令和元年度2月の4回目会議までは、当たり前に従来通りの大会を行えることとして話は進んでいました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が出された3月の会議では、授業再開の見通しはもてない状況でしたが、3区のアンケートを基に児童の実態や課題等を出し合い、目指す児童像を設定し、研究主題を話し合いました。6月の授業再開後は音楽の授業の実施方法について慎重に検討することが求められ、各区での対応により実施の時期も異なることから、2学期の事前研授業での交流を3区揃って実施することは難しいことでした。令和3年度になっても本番1月の感染状況を楽観視することはできず、5月に「大人だけの開催」への変更を決定しました。それに伴い授業動画、演奏動画、協議会等のことを相当話し合いました。今回の大会は運営面での臨機応変な対応が求められましたが、長期にわたってご協力いただきました関係者の皆様方には改めて敬意を表し、次の大会につなぎたいと思います。

山の手Cゾーン大会を終えて

山の手Cゾーン大会研究部長
目黒区立不動小学校 主任教諭 辻 周



去る1月27日、誌面開催をもって山の手Cゾーン大会を終えることができました。

本研究は2年前、3区の研究推進の先生方とともに指導上の課題や各区の実態を交流するところから始まりました。それらを「主体的・対話的で深い学び」の枠組みで整理し、導き出した目指す児童像から「つなげよう」「広げよう」「生かそう」のキーワードを設け研究を進めてまいりました。

研究主題を実現するための視点は3つ設けました。**視点1**は主体的な学びにつながる視点です。課題意識をもち、実感を伴った活動を積み重ねることで、児童が最後まで学びをつなげる工夫です。**視点2**は対話的な学びにつながる視点です。周りの人たちと対話的に学びを広げながら児童はさらに学びを深めていきます。そして、**視点3**は学びを次の学びに生かすための工夫です。今回山の手Cゾーンの新たな試みとして学びの系統性を表にすることに取り組みました。

今改めて振り返ってみますと、この研究自体が視点の枠組みの中で深まっていったことに気がきます。研究のゴールに向け、さまざまな手立てを試し、比較し、3区の皆様と対話的に情報を交換しながら研究を深めることができた実感しております。そして、この研究が次の山の手Dゾーン大会へ系統的につながっていくことを願っております。

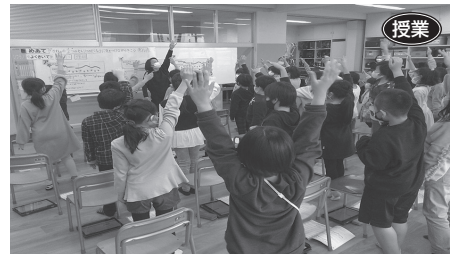
結びに、開催にあたり多くのご指導ご助言を賜りました助言者の先生方、また、各区の音楽部担当の校長先生や都小音研各部の先生方に学ぶ機会をいただきましたことを感謝申し上げますとともに、このような状況の中でも研究の灯を絶やさず、共に子供の学びに寄与してくださった3区の先生方に厚く御礼申し上げます。



「詩と音楽の関わりを味わおう」

大田区立洗足池小学校 第5学年
教諭 佐藤 裕美子

山の手Cゾーン大会 研究授業・研究演奏の様子



「せんりつこの重なりを楽しもう」

大田区立馬込第二小学校 第3学年
主任教諭 田村 理香



「曲想の変化を感じ取ろう」

目黒区立東山小学校 第5学年
主任教諭 永網 拓人



「みんなの音楽時計をつくろう」

品川区立荏原平塚学園 第2学年
教諭 樽谷 紗与子



「心から 未来を高くかに歌いたい」

目黒区立下目黒小学校 第5学年
主任教諭 佐伯 麻子



「パートの役割を生かして
アフリカの響きを表現しよう」

品川区立伊藤学園 第5学年
教諭 辻 絵美



「みんなの思いをつないで演奏しよう
～音楽で冒険の旅～」

大田区立赤松小学校 第5学年
主任教諭 山城 怜菜

山の手Cゾーン大会報告

都小音研研究部部長 豊島区立池袋第三小学校 指導教諭 前田 しのぶ



山の手Cゾーン大会は、直前の感染状況の悪化を受け誌面開催となりました。新型コロナウイルスにより一変した学習環境の中、2年間にわたり柔軟に対応しつつ、録画した授業・演奏による発表にすることで、会場の収容人数も半分に限ることなど、感染拡大防止に十分考慮した大会実施計画の元粛々と進めてきた研究でした。苦渋の決断となりました。

授業・演奏の発表に向け、足を止めることなく前へ前へと進んで来られた授業校・演奏校の先生方。チーム一丸となり支え研究を進めてきた分科会・チーフの先生方。常に見守っていただいた校長先生方、当該校の先生方。ゾーンという大きな組織を動かすために人と人を繋ぎ尽力された研究推進委員長。3区が同じ足並みで研究を深めていきたいと研究内容を組み立て推進された研究部長。度重なる変更にも対応し直前まで奮闘された運営部長。初めて授業・演奏が録画となったことで調整役となっていた方。録画に携わり、編集のために膨大な時間を費やしていただいた方々。インターネット上で意見を集約し協議会に生かしていく試みを進めていただいた方々。研究の成果である集録の作成に尽力していただいた方々。そして、研究の原動力となった助言者の先生方からのご指導。生涯残るであろう教えのお言葉。温かな支え。

万感の思いをこめて、全ての皆様に「ありがとうございました」とお伝えしたいです。山の手Cゾーンの研究からの学びを、今後の私達の日々の授業に生かし、実践を重ねていきたいです。

令和4年度 第65回 都小音研 研究大会「山の手Dゾーン大会」

令和5年1月27日(金) (予定) 山の手Dゾーン:世田谷区・渋谷区・町田市

場所等の詳細については、4月配布予定の「山の手Dゾーン大会一次案内」をご覧ください。

研究主題「見つけよう 広げよう 生かそう 私たちの音楽」

研究授業4本 研究演奏3本 研究発表 講評・講演

山の手Dゾーンでは、山の手Cゾーン大会の成果と課題を踏まえ、音楽科の目標を達成する授業の実現を追究し、学びの場を創造した授業づくりに向け、3地区で研究を進めております。

東京都をはじめ、全国の皆様と今の音楽教育をともに考える機会にしたいと思っております。

ゾーンの再編成について

来年度より新宿区が山の手Bゾーンに編入します。それに伴い、

中央Aゾーン

中野・杉並・武蔵野・三鷹 全88校

山の手Bゾーン

千代田・中央・港・台東・新宿 全90校

となります。

第58回 児童作曲コンクール 審査結果

2月10日に授賞式・入選作品演奏発表会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、やむなく中止となりました。来年度も多くの作品が生まれることを期待しています。

課題詩の部1 「ゆうやけパレット」

うたか いずみ 詩

入選

- 山元 佑介（江東・平久小学校5年）
志村 明音（世田谷・烏山北小5年）
三輪 真央（練馬・練馬第三小3年）

佳作

- 高畑 弥生（江東・平久小5年）
豊住 遙花・瀬戸家ひまり
（世田谷・尾山台小5年）
松尾 有彩・松尾 彩弓
（三鷹・第三小4年・1年）

課題詩の部2 「わたあめできた」

尾崎 杏子 詩

入選

- 【審査員特別賞】岩田 咲知（杉並・高井戸小2年）
野矢 樹（江東・越中島小6年）
水田 佳恵（世田谷・尾山台小4年）

佳作

- 遊佐 蒼馬（杉並・桃井第四小4年）
宇田川花葉（板橋・志村小5年）
板垣 果歩（立川・第四小5年）
日下部めい（立川・幸小2年）

自由作品の部ア（旋律のみの作品）

入選

- 川村 未来（文京・礪川小5年）
岩佐 汐莉・巻田 結菜
（目黒・中目黒小6年）
中澤繪々子（目黒・中目黒小4年）

佳作

- 牧野 知歩（世田谷・尾山台小4年）
高井 道人（練馬・練馬第三小6年）
沼田 理玖（江戸川・船堀小3年）
畑田 彩江（東京学芸大学附属小金井小3年）

自由作品の部イ（伴奏等がついた作品）

入選

- 【会長賞】生澤 真央（あきる野・五日市小5年）
名子屋 凜（葛飾・川端小6年）
石原 優（多摩・多摩第一小6年）

佳作

- 松田理紗子（新宿・牛込仲之小2年）
服部 咲希（足立・栗原小4年）
児玉 結風（葛飾・綾南小2年）
高橋 真（江戸川・清新第一小5年）

学校賞（3年連続して作品応募のあった学校）

- 江東・越中島小 ○目黒・中目黒小
○世田谷・用賀小 ○杉並・久我山小
○足立・花保小 ○葛飾・川端小
○町田・南つくし野小 ○日の出・大久野小



♪今年度の受賞作品は、入選作品集としてまとめています。（1冊 600円）ぜひ、今後の作品づくりにお役立てください。購入希望の方は下記までご連絡ください。

◇問合せ先：事業部長 脇田秀男（新宿・牛込仲之小）

♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈12月理事会〉 12/16 於：八幡小学校

議長：谷口 佳史（あきる野・屋城小）

○会長あいさつ

○議事

- 1・2・3月の行事予定について
- 令和3年度 山の手Cゾーン大会について
- 第58回 児童作曲コンクールについて
- 各部より *庶務 *会計 *研究
*事業 *調査 *広報

編集後記

急激な新型コロナウイルス感染症の感染拡大、度重なる計画の変更、何度も心が折れそうになりながらも、子供たちの笑顔に背中を押されます。顔を合わせられなくても、子供たちの心と向き合って過ごしていこうと思います。（K）

会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会長 峯岸敦子

編集：広報部

印刷：タイヨ一美術印刷株式会社